

令和6年第4回南丹市議会12月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新風会 塩貝 孝之 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午前10時～	行政		産業建設常任委員会を代表し、以下2点について方向性を確認する。	市 長
		地域循環型社会について	①下水汚泥や家畜糞尿、食品残渣等を一体的に処理し、堆肥化の検討を提案する。	
		サンガタウン誘致について	②京都パープルサンガは城陽市内の練習場やクラブハウスを亀岡市内に移転する意向を示されたが、候補地に難航しているとの報道があった。本市としても誘致活動ができないか伺う。	
	地域振興	吉富駅等、JR駅周辺の活性化について	企業誘致はもちろんのことだが、国や府の機関誘致も検討できないか伺う。	市 長 担 当 部 長
			各駅を拠点とした活性化はJR増便への近道と考える。また駅名称の変更も検討課題であると考えているが、市長の見解を伺う。	
	防災	11月2日の大雨による被害及び対策について	市内では法面崩壊や、土砂流出、道路冠水等が見られた。以下について対策を伺う。	
			①市道城南小山線の二本松頂上付近の地滑りについて	
			②小山西地内における道路冠水及び土砂流出について	
		消防団活動について	①災害時相互支援体制構築事業で導入された資機材の稼働状況について、以下の点を伺う。	
			・資機材の運用規定について ・能登半島地震及び豪雨について ・バックホーの操縦研修について	
			②消防団員の出勤手当について伺う。	
			③消防団組織の実情に合わせた体制について伺う。	
	地域振興	地域おこし協力隊について	推進要綱の改正による本市への影響を伺う。	
つなぐ 吉田 尋子 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午前11時～	公共施設	「女性の館」の活用と今後について	①平成5年に旧園部町が設置した「女性の館」は、平成20年4月より市直営で管理運営されてきた。これまで運営委員会を中心に講座やサークル活動の拠点となってきたが、市の政策の中でどのように位置付け、活用してきたのか。	市 長 担 当 部 長
			②令和8年都市緑化フェアに向けて、女性の館の用途変更を視野に入れた改修が計画されている。6年6月議会では今後の改修に向けては運営委員会と調整しながら計画を進めるとの答弁であったが、その後どのように進められたのか。	
			③女性の館では「さをり織り」や「着物リフォーム」などさまざまな活動をされている。改修時やその後の活動場所をどのように考えているのか。	
			④改修後の施設を、「憩いの場。少しお茶が飲めるサロンのような場」としていきたいとの答弁であったが、施設の目的や活用を含めこの施設の方向性は。	
	学校教育	学力の定着と今後の学校教育の方向性	①全国学力・学習状況調査の結果は、京都府や全国の平均と比べてどうか。結果・分析を踏まえた教育長の考えは。	教 育 長 担 当 部 長
			②AIDリルすららの導入から1年余りが経過した。その活用方法と効果は。また、問題点はないか。	
			③今後の学力の保障に関する方針は。	

令和6年第4回南丹市議会12月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新誠会 西村 好高 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午後1時～	環境衛生	ごみ処理施設について	①京都市の松井市長が西京区に広域利用を含めた、新ごみ処理施設の建設を検討すると表明された。本市は現在、京都市と亀岡市に可燃ごみ処理をお願いしているが、今回の松井市長の意向について西村市長の所見を伺う。	市長 担当部長
			②本市と京丹波町で構成する船井郡衛生管理組合で自前のごみ処理施設を建設することはコスト的に相当ハードルが高いと思料する。京都府ごみ処理広域化プランでは亀岡市と船井郡衛生管理組合が広域化ブロックの区割りと示されているが、京都市を含めた広域化や昨年まで処理委託先であった民間企業への委託など、将来に負担を残さない、ごみ処理施設の今後の方向性について伺う。	
	地域振興	地域振興について	①地域振興とは「それぞれの地域の特性を活かしながら、人々が住み、働き、学び、遊ぶといった暮らしの総合的な環境を整え、地域の活力を引き出し、または、創り出していくこと」とされている。そこで市長が考える地域振興について伺う。	
			②小規模多機能自治とは、「小規模ながらも、様々な機能をもった住民自治の仕組みのこと。概ね小学校区などの範囲において、その地域に住む、個人・団体が、地域の実情および地域課題に応じて住民の福祉の増進に取り組んでいく方法である」とされている。地域振興の究極的な形態であると思料するが、市長の所見を伺う。	
			③小学校跡地利活用については各地域組織の皆様が施設の維持管理と共に、もう一つ大きな意義として地域振興を担っていただいている。少子高齢化が進む中で、地域を活性化しようと尽力いただいている皆様は、現在の市からの提案であれば、これまでの活動を否定していると捉えかねない。 地域振興の観点から、一律でなくても管理いただいている組織団体の皆様の要望を実現するような条件で指定管理すべきと思料するが所見を伺う。	
			④旧大野小学校は美山虹の湖交流センターとして民間利用される方向性であるが、他の小学校跡地利活用について、これまでの議論と検討の整合性を含め、今後について伺う。	
活緑クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午後2時～	行政運営	物価高騰対策について	近年の物価高騰は、住民の暮らしに多大な影響を与えており、市独自の対策だけでなく国や府と連携し、総合的な支援を行う事が必要であると考える。また、様々な事業者においても物価高騰の影響により経営環境は著しく変化し、非常に厳しい状況に直面していると考え。こうした状況下では、相談支援や補助金に限らず、あらゆる支援体制を整え、多角的に対応していく必要があるかと考えるが市長の見解を伺う。	市長 担当部長
	公共施設	施設の有効活用について	①財政健全化プランに基づく公共施設のあり方の見直しの一環として、八木図書館を八木支所庁舎内1階に機能移転されるが、移転後の既存施設はどのように活用されるのか、市長の見解を伺う。	
			②公共施設の再配置に伴い、日吉支所が日吉生涯学習センター内へ、八木図書室が八木支所へと移転が進められていく中で、機能を集約した施設を地域の大きな拠点として活用し、その機能性をさらに高めていくことが必要だと考える。具体的には、施設内遊具を設置して子育て環境の充実を図るほか、勉強室やコミュニティスペース、観光案内板、イベント掲示板などを設けることで、あらゆる世代の人々が集える場としていくことが必要と考える。これらを踏まえ、地域の拠点としてのより良い施設づくりについて市長の見解を伺う。	
	商工	ふるさと納税の寄附金の使い道について	ふるさと納税の理念とは、地方創生や地域活性化、寄附者の想いの反映を図ることにある。その観点から、寄附金の使い道の項目を細分化することが必要だと考える。過去8項目あったが現在では4項目に減少しており、寄附者の想いを反映しにくいのではないかと思う。寄附者は返礼品だけでなく、地域を応援したい、また、お世話になった自治体に寄附したいという思いを持って。これに応えるためにも、寄附の使い道をさらに細分化し、選択肢を増やすことが重要である。特に、地域活性化に向けて活動している団体名などを項目に含めることで、地域振興に取り組むさまざまな団体に寄附が届き、新たな地域振興へとつながる可能性がある。このようにすることで、地域の活性化が図られるだけでなく、寄附者の想いが直接届けられるのではないかと考えるが見解を伺う。	
	行政運営・地域振興・観光	南丹市発足20周年について	2006年に南丹市が発足してから、来年で20周年を迎える。この節目の年には大阪・関西万博が開催され、その翌年には緑化フェアが予定されており、本市がさらなる発展をしていく重要な機会と考えるが、市長は、20周年をどのような位置づけで取り組みを進めていくのか。 また、大阪・関西万博も開催され、訪日客を含む国内外からの来場者が、近隣地域を訪れることが予想される中、本市として観光資源である伝統文化、食、体験、山城などをどのように生かしていくのか、また、地域魅力発掘プロジェクトなどを立ち上げ、文化庁の協力も得ながら本市地域の情報発信の強化をして、翌年の緑化フェアへの誘導や地域活性化につなげてはどうか。またこのことにより、交流人口の増加が、JR利用促進による早期復便や定住促進など様々な効果へとつながると考えるが見解を伺う。	

令和6年第4回南丹市議会12月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午後3時～	政治	衆議院選挙結果について	10月27日に実施された衆議院選挙において、自民党、公明党の連立政権が有権者の支持を得られず、いわゆる過半数割れを起こし厳しい結果となった。それを受けて伺う。	市 長
			①自公政権に対する有権者の意思判断を市長としてどのように受け止めているか。	
			②小選挙区第4区は政権与党議員が空白となったが、今後の陳情活動等についての考えを伺う。	
	危機管理	防災減災の取り組みについて	能登半島地震から間もなく1年を迎える。よもや元日にあのような巨大地震が起きるとは誰も想像していなかったと思う。元日といえども自然は容赦なく大災害が起き全てをぶち壊した。自然の恐ろしさと、人間の無力さを見せつけられた。災害は地震だけではなく、これから迎える冬本番、降雪等による倒木など大変心配される。また暖房による火災等もいつ起きてもおかしくないなか、消火栓ボックスの機材の確認状況について伺う。	市 長 担 当 部 長
	財務	今後実施される補正予算について	総選挙結果を受けて政府は野党の協力を得ながら今後補正予算を国会に提出する予定であるが、報道されている補正内容を見ていると総合経済対策として物価高に対するきめ細かい対応等が盛り込まれている。自治体独自の物価高対策にも使える。これまでの本市における経済対策は、国が示す経済的弱者等に支援がなされてきたが、現役世代には財政難からなされていない。厳しい状況は重々承知するが、この世代に何らかの支援ができないか。	
日本共産党 議員団 小林 毅 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午後4時～	上水道事業	水道料金見直し(値上げ)を回避する取り組み	①「清浄」「豊富」「低廉」な水を供給する公営水道の目的(水道法1条)に照らして、本市水道事業の現状をどう見ているか。	市 長 担 当 部 長
			②「現行の料金体系で健全な水道事業運営の継続が困難だと見込まれる」として、R8年度にむけて料金改定(値上げ)が予定されているが、水道法1条の目的の上に立って、値上げを回避する努力こそが求められているのではないのか。	
	公職選挙の執行結果	投票所廃止地区の投票率大幅後退の検証が必要	①先の総選挙における廃止・再編された投票所の投票率は、再編がなかった投票所に比べて大幅に落ち込んだ。廃止・再編された地区の投票率後退をどう分析しているのか。	選 挙 管 理 会 長 委 員 長
			②国民主権、立憲主義の土台に関わる事態が起こっている。投票所廃止地区での投票率大幅後退の検証をおこない公表するよう求める。投票所の復活も検討する必要がある。	
			③期日前投票時の市営バス等の無料乗車利用者数を報告願う。	
			④今回ポスター掲示場が大幅に削減になった。掲示場が一箇所もない区域があった。是正を求めたい。	

令和6年第4回南丹市議会12月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午前10時～	環境政策・財政	「地球脱炭素重点対策加速化事業」の実施について	市では、環境省の「地域脱炭素重点対策加速化事業」の採択を受け、本年度から5カ年で総事業費で約38億円、約4億6千万円の市費を投じて、個人・事業者向けの太陽光発電設備や薪ストーブの設置、「スプリングスひよし」へのバイオマスボイラーの導入など、多くの事業を盛り込んだ「地球脱炭素重点対策加速化事業」(以下「本事業」という。)に取り組むこととなったが、この件について、以下に問う。	市 長 担当部長
			①市費4億6千万円を投じて事業を進めることについて、財政調整基金の減少を食い止め、基金に頼らない財政運営を目指すとする「財政健全化プラン」との整合性はどうなのか。財政調整基金を投入せずに本事業を実施できるのか。また、本事業は、5年10月公表の「財政健全化プラン」でいう「積み残された事業」なのか。	
			②市では、2013年に第2次環境基本計画を策定し、2030年度の市全体の温室効果ガス排出量を、基準年(2013年度)比で33%以上の削減を目指すとしている中、本事業に取り組もうとするねらいは何か。また、本事業の実施で、33%以上の削減目標は、どの程度と見込んでいるのか。さらには、市民にとって本事業の直接的なメリットは何か。	
			③本事業では、個人・事業者向け太陽光発電設備の設置(5年間で個人220件、企業65件)を計画しているが、現行の市の住宅用太陽光発電システム設置事業のここ5年間の実績は年間20件程度である。本事業向けの新たな補助制度も導入されているが、現状の実績からみて実現可能なのか。	
			④市の第3次地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)によると、市の施設で温室効果ガス排出量が最も多いのが「スプリングスひよし」で、2019年で1479トンとしているが、本事業で「スプリングスひよし」にバイオマスボイラーを導入することで、温室効果ガス排出量の削減はどの程度図れるのか。燃料となるチップ等の製造過程で温室効果ガスが新たに排出されることを踏まえた場合の見込みはどうか。	
			⑤本事業を所管する環境課は、少ない人員のため不法投棄対応など現場の業務も職員自らが対応しなければならないのが現状である。5カ年で総事業費約38億円という大規模な本事業の実施にどのような体制で臨むのか。体制強化が必要ではないか。	
	福祉・財政健全化	外出支援サービスの利用者負担額の見直しについて	「財政健全化プラン緊急対策」により、外出支援サービスの利用者負担額が来年4月から大幅に引き上げられることとなった。自宅から目的地を経由し自宅までの距離が20km以内の場合1回800円、20km超から60kmまでは1回1,000円などの現行の負担額が、3km以内は800円、3km超から6kmまでは1000円、6km超から10kmまでは1200円、10km超以降は10kgごとに200円加算することとなり、現行と比べて20kmまでは1～1.75倍、20km～60kmでは1.6倍～2.2倍となる。 この件について、以下に問う。	
			①大幅な引き上げとしたその考え方と根拠はどうか。	
			②利用者負担額について審議した10月31日の「市地域公共交通会議」では、「遠方の利用者は負担が大きい」との意見があったとのことであるが、この点についての考え方はどうか。	
			③本事業は、決算において府の地域振興的な補助金を充てているものの実質は、年間約4500万円(過去5年間)の市費を投じており、その多くが社会福祉協議会などへの委託料である。この引き上げで年間約670万円の利用者負担の増加を見込んでいるとのことであるが、財政健全化において、市の一般財源の軽減にどの程度繋がるのか。	

令和6年第4回南丹市議会12月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新誠会 前田 義明 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午前11時～	都市計画	都市計画道路(園部町)について	①園部大橋架け替えによる上本町線の現状について伺う。	市 長
			②上木崎本町線が未整備区間である理由と今後の見通しについて伺う。	
	人権政策	人権政策条例について	令和4年1月1日に施行された南丹市人権を尊重し多様性を認めあうまちづくり条例第6条(基本方針)について伺う。	
新誠会 堤 博明 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後1時～	財政	財政健全化プラン緊急対策について	①日吉地域では旧耐震基準である日吉支所の日吉生涯学習センターへの支所機能の集約が示されているが、八木地域においては11月22日に「八木支所内の配置移動について」というチラシが八木地域に配布されたと伺っている。この支所内の配置移動については、「財政健全化プランに基づく公共施設の見直しの一環」とのことである。「財政健全化プラン緊急対策」においては具体的に示されていなかったが、市長の所見を伺う。	市 長
			②八木図書室が支所1階部分に移動後、現在の図書室部分が「空室となった施設」となるが、今後どのような利活用を図ろうとされているのか、市長の所見を伺う。	
			③人件費の削減、会計年度任用職員の見直しに合わせDX化を早急に進める必要があるが、R7年度以降の計画と現状の課題について伺う。	
	行政改革	南丹市Creative-labについて	若手職員が「待遇」「組織・事務改善」「施策」をテーマに議論を重ねておられるが、進捗状況について伺う。	市 長
	農業	メタン発酵消化液について	現状の消化液から付加価値の高い活性消化液が実証実験で生成されているが、この処理方法を推進し課題を克服してはどうか、市長に伺う。	担当部長

令和6年第4回南丹市議会12月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
活緑クラブ 村山 好明 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後2時～	防災	降雪対策について	①本年も降雪の時期となったが、本市の大雪時の除雪対応と準備について伺う。	市 長 担 当 部 長
			②地域で行っているトラクター等による除雪作業の課題認識は。	
			③倒木等による停電時の市の対応及び大雪災害時の関係機関との連携状況等について伺う。	
	福祉	高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて	①本市において急速な高齢化が進展しているが、地域で世代を超えたつながり、お互いに支え合い共に地域共生社会の構築を進めていくことが必要と考える。高齢者が地域で生き生きと活躍できるようにする本市の取り組み・認識について伺う。	
			②本市は高齢者の割合が3分の1を占める中、地域の活性化には高齢者と言われる方々の活躍が必要と感じる。本市でも、シルバー人材センターによる就労機会の提供やボランティアの社会貢献活動が地域の大きな支えとなっている。今後も高齢者人口割合が増加すると考えると、地域の活性化のためには高齢者の今まで培ってこられたスキル等が発揮できることが必要と考える。高齢者が活躍できる場所の提供・高齢者相談活躍相談センターのような支援機関が必要と考えるが、本市の認識を伺う。	
			③本市でも、通院等の送迎サービス等があるが、利用者の方々の利用満足度の調査を行い利用者の要望等について、十分な検討がされているか伺う。	
			④市内には、業者が食品や生活用品の移動販売を行っている地域がある。買物が困難な地域においては、とても喜ばれているが、移動販売は、人件費、燃料代等の多くの経費が必要となってくる。現在は、業者の地域貢献活動・ボランティア活動とも感じられる状況も感じている。ついては、将来の継続的買物支援の一環として、買物が困難な地域では、移動販売業者を支援することが必要と考えるが見解を伺う。	
	教育	学校部活動等について	①近年の気温上昇に伴い、全国においても、熱中症による緊急搬送、死亡者数が増加しているが、本年夏の学校部活動等での熱中症対策における課題や、今後の対応について伺う。	教 育 長
			②本市の部活動における地域連携や地域移行の今後の予定及び課題について伺う。	
活緑クラブ 若井 睦巳 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後3時～	財政	財政健全化、その先について	①財政健全化プランについては、基金に頼らない健全な財政運営を目指し、歳出の見直し8項目と歳入の確保4項目を取組の柱として進めていこうとしている。どうしてもネガティブなイメージが先行してしまうが、これからプランを進める上では、「夢」(ポジティブイメージ)も語る必要があると考えるが見解を伺う。	市 長 担 当 部 長
			②財政健全化が実現できた後、本市はどのようなまちになるのか。まちづくりに関するビジョンについて伺う。	
	財政・観光	マンホールのふたの活用について	財源確保の一環として、マンホールのふたに広告等を設置する事業を展開しているところがある。また、マンホールカードなどを作成して配布しているところもある。こちらは無料配布なので財源確保とは意味合いが異なるが、マニアがカードを求めて全国を巡っているとも聞く。マンホールのふたの活用についての見解を伺う。	市 教 育 長
	教育	通学路の整備について	子どもたちが徒歩で通学している通学路において、市道沿いの歩道には草が生えている。特に、夏休み明けのころには、歩き難いほどの草が生えていることがある。子どもたちはそれを避けながら歩いている。通学路だけではなく、市道沿いの歩道については、年に1回程度、特に草が伸びる夏頃には草刈りが必要ではないかと考えるが、見解を伺う。	

令和6年第4回南丹市議会12月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
公明党 平田 聖治 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後4時～	危機管理	感震ブレーカーの普及推進について	地震などが発生した際に一定の揺れを感知すると自動でブレーカーを落とすことができる感震ブレーカーの普及推進について伺う。	市 長 担 当 部 長
		ハザードマップの窓口配布について	転入届出時の配布書類にハザードマップを追加できないか伺う。	
	高齢福祉	ヒアリングフレイル(聴覚機能の衰え)について	聴き取る力(聴覚機能)が衰え、耳が聞こえにくくなると、周りの会話にうまく参加できなくなり、周囲との関わりが減り認知症やうつ病の原因になることがある。難聴高齢者の早期発見のためには、聴力検査や適切な対応が必要と考えるが所見を伺う。補聴器購入に対する費用助成の考えは。	教 育 長 担 当 部 長
	教育	GIGAスクール構想で配備された端末の更新について	児童生徒一人一台の端末が配備されているが、これらの端末が順次更新時を迎える。その更新の時期が2025年度に集中すると言われているが、本市の場合いつになるのか。これまで活用してきた端末の処分はどうするのか。更新および処分計画について伺う。	
日本共産党 議員団 河野 啓介 (一問一答) 質問予定日 12月6日 午前10時～	北陸新幹線	「要望」の提出について	11月20日付京都新聞記事によると、府知事および鉄道・運輸機構へ提出されるとのことです。要望項目や提出時期は調整中で年内は難しいとされていますが、提出内容、提出時期の明確化と回答の期限を切ったの提出をお願いします。所感を伺います。	市 長 担 当 部 長
	学校給食共同調理場	建設の実施に向けた庁内の体制について	①南丹市の中でも最大級の「箱物」となります。所管は教育委員会となっていますが、他の部署からの「応援体制」について伺います。	市 教 育 長 担 当 部 長
			②合併特例債を使い切る、ということが前提とされて無理な建設スケジュールになっていないのか心配です。職員の方に過度な負担がかからないような保証はありますか？	
	観光と地域振興	観光政策について	令和5年の実績は245万人、地域内経済の循環率は90%と聞いていますが、今後の展望と課題について伺います。	市 長 担 当 部 長
			①観光協会の一本化の狙いはなにか？	
			②観光に従事する方々を定住促進と結びつけるための今後の課題はなにか？	
		地域振興について	美山町がベストツーリズムビレッジに選定された理由として「豊かな自然と環境を住民が誇りを持って生かし、守っている」ことが挙げられていました。	
			①住民の自発的な取り組みも大きな発信力を持つべきであり、これを支えるのも行政の大切な仕事と思われます。地域振興の方針と展望について伺います。	
			②「集客力」の多いイベント(例 花火大会)への行政対応方針について伺います。	
			行政として支えていくためにも職員の方々の働きが決定的となります。人的補償、組織のあり方も含めて今後の展望を伺います。	

令和6年第4回南丹市議会12月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 12月6日 午前11時～	財政	南丹市財政健全化プランについて	①市内4か所において財政健全化市民説明会が開催されたが、説明会全般を通じての市長の所見を伺う。	市 長 担 当 部 長
			②説明会を終え、今後7年度当初予算編成が進められていると思うが、市民の声をどのようにとらえ予算編成を進めるのか市長の所見を伺う。	
			③国で進められている「103万円の壁」に対する本市財政への影響について伺う。	
	教育	小学校通学路の安全確保について	①9月下旬、八木東小学校通学路における山側に蜂が巣を作り、通学路に蜂が飛来し、児童の安全確保のため、一時通学路を変更され児童が通学するという事象があった。小学校長より教育委員会に連絡されたが結果的には学校長や通学する地元自治役員、子供会育成協議会役員有志により駆除され、元の安全な通学路で児童が通学することとなったが、教育委員会の対応についてお伺いする。	教 育 長 担 当 部 長
			②教育委員会と学校現場との連携について伺う。	
新誠会 樋口 浩之 (一問一答) 質問予定日 12月6日 午後1時～	まちづくり	地域ブランディング	①本市における地域ブランディングの現状と課題について市長の見解を伺う。	市 長
			②本市においては現在、具体的な地域ブランディング戦略は示されていない。自治体における地域ブランディング戦略の必要性について市長の考えを伺う。	
			③合併前に定められた本市のブランディングについても、合併後の実情や社会情勢の変化に合わせたブランディングのメンテナンス(リブランディング)が必要であると考え。市長の見解を伺う。	
		そのべお城通りの歩道活用	そのべお城通りの歩道活用について、2022年9月議会一般質問の答弁において前向きな姿勢を示されたが、歩道活用を地域で進めることについては課題も多く行き詰まっている状態である。市のビジョンを再度伺う。	

令和6年第4回南丹市議会12月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新誠会 仲村 学 (一問一答) 質問予定日 12月6日 午後2時～	上下水道	水道水の安全性について	全国の水道水から有機フッ素化合物(PFAS)が相次いで検出され問題となっている。水道水の安全性について伺う。	市 長 担 当 部 長
		上下水道管について	老朽化した上下水道管の更新や耐震化等について伺う。	
	防犯	防犯対策について	全国で匿名・流動型犯罪グループによる詐欺や強盗などの犯罪が多発している。本市でも被害が発生している。今後の対策等について伺う。	
	教育環境	子どもへの性犯罪について	日本版DBS(通称「こども性暴力防止法」)が今年6月に国で可決、成立した。施行は2026年の予定である。現在の状況と今後の計画や制度運用等について伺う。	教 育 長
	個人財産	相続登記について	今年の4月から相続登記の申請が義務化された。公共事業を円滑に進める意味でも重要な課題であるとする。申請の促進策について伺う。	市 長 担 当 部 長
活緑クラブ 下間 康広 (一問一答) 質問予定日 12月6日 午後3時～	防災	大雨に対する防災について	11月2日に本市内にて時間雨量46mmの降雨があり、市内各地にて被害が発生した。特に、山林からの土砂を含んだ雨水の流出が激しく、園部地域では床下浸水被害も6件報告されている。そのことをふまえ以下2点を伺う。	市 長 担 当 部 長
			①被害の多かった地域を見ると、過去からも似たような被害がある事が聞き取れた。本市内において同様に危機感を持っている箇所があるのか、現状の把握と対策について伺う。	
			②被害地上流には府の治山ダムがあり水を寄せる形状になっている。しかし、下流を見るとおおよそ大量の水が流れる構造になっていない。下流まで一体となった構造計画が必要だと考える。対策についての考えを伺う。	
	農業	農業振興について	本市では約1540の経営体の方々が農業に従事されている。ただ、兼業経営体が約80%を占め、専業・準専業経営体をみても65歳以上の従事率も55%と高い水準にある。こういった現状をふまえ以下2点を伺う。	
			①本市の農業産業を発展させるには、本市の特徴を理解し、他市に負けない特色を出すことが重要だと考える。これからの農業振興に対する考えを伺う。	
			②本市の状況を客観的に見ると、圧倒的に兼業(専・準専業以外)農家が多い。兼業農家に対する支援策を講じるべきだと思うが、市の考えを伺う。	
	消防	消防団員の待遇改善について	現在、約1200人の団員が活躍いただいている。ただ、市外勤務の方が多く、有事の際の出動に対しても企業の理解が得られにくいとも聞く。協力事業所制度もあるが、本市独自の出動理解支援を行うべきと考える。市としての見解を伺う。	